

しまぎんの 経営情報

2006年(平成18年)中間期

【単体・速報ベース】

S 1. 営業実績

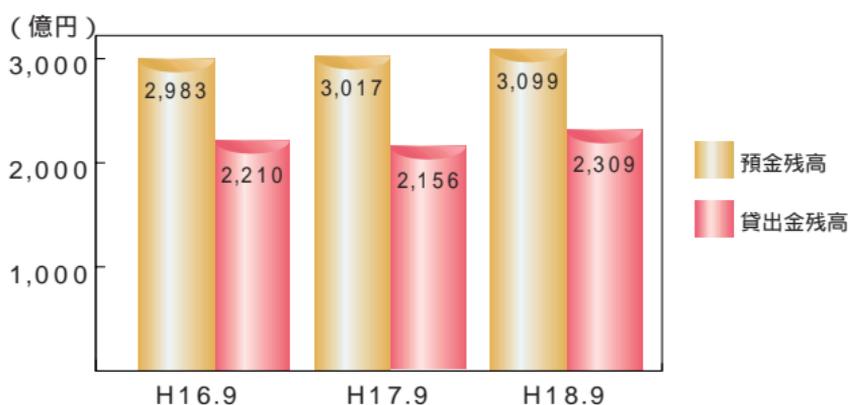
預金・貸出金・個人預り資産および経営成績は次のとおりです。

預金・貸出金

(百万円)

区 分	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年9月期
預金残高	298,383	301,795	309,998
個人預金	196,964	207,188	212,322
法人預金	70,912	69,675	70,104
公金預金	24,153	17,807	20,355
金融機関預金	6,353	7,124	7,214
貸出金残高	221,085	215,682	230,939
個人ローン	46,721	45,714	50,721

平成17年4月から両県制度融資に係る預託金の預入方法が変更されたため、平成16年度の当該預託額について、預金残高の内訳を法人預金から公金預金に組替えて表示しております。



個人預り資産

(百万円)

区 分	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年9月期
個人預り資産	206,640	223,052	233,814
個人預金	196,964	207,188	212,322
投資信託	2,198	4,242	5,812
公共債	942	1,286	1,480
年金保険	6,534	10,335	14,198

経営成績

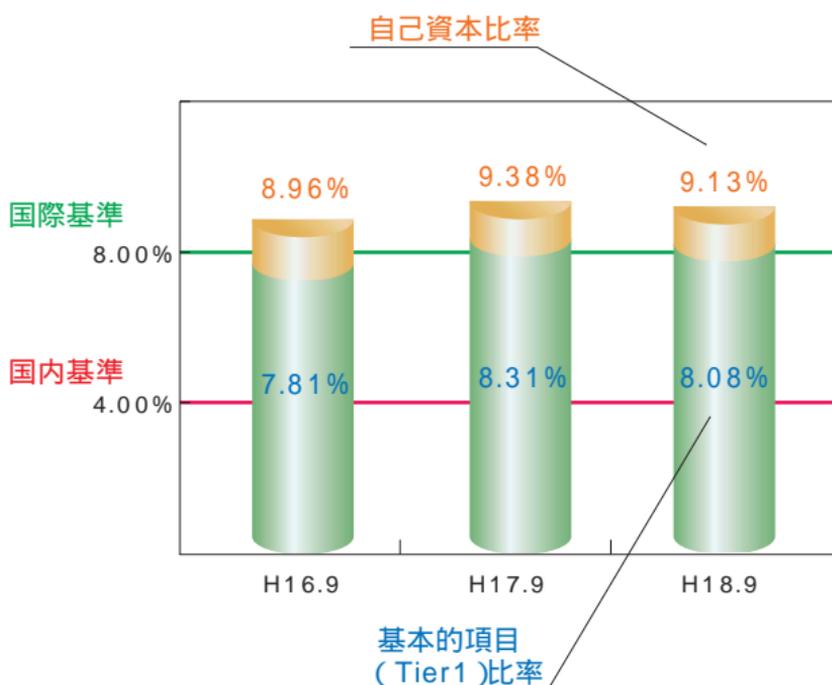
(百万円)

区 分	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年9月期
経常収益	3,626	3,827	3,664
経常費用	3,151	3,125	3,496
業務純益	899	966	889
経常利益	475	701	168
中間純利益	277	413	111

2.自己資本比率

自己資本比率は、銀行が保有する貸出金や有価証券等の資産に対し、資本金や引当金等の内部資金をどの程度保有しているかを見る指標であり、銀行の健全性を示す重要な指標です。

区 分	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年9月期
自己資本比率	8.96%	9.38%	9.13%
基本的項目(Tier1)比率	7.81%	8.31%	8.08%



国際基準

海外に営業拠点を有する銀行の基準であり、自己資本比率が8%以上あることが求められています。

国内基準

海外に営業拠点を有しない銀行の基準であり、自己資本比率が4%以上あることが求められています。

自己資本比率について

当行は海外に営業拠点を有しないため、国内基準の対象となります。平成18年9月期の自己資本比率は9.13%であり、国内基準の4%はもちろんですが、国際基準の8%も余裕をもってクリアしています。

基本的項目(Tier1)比率について

基本的項目(Tier1)比率とは、自己資本の根幹を成す「基本的項目」(資本金や剰余金など)によって算出される比率のことです。

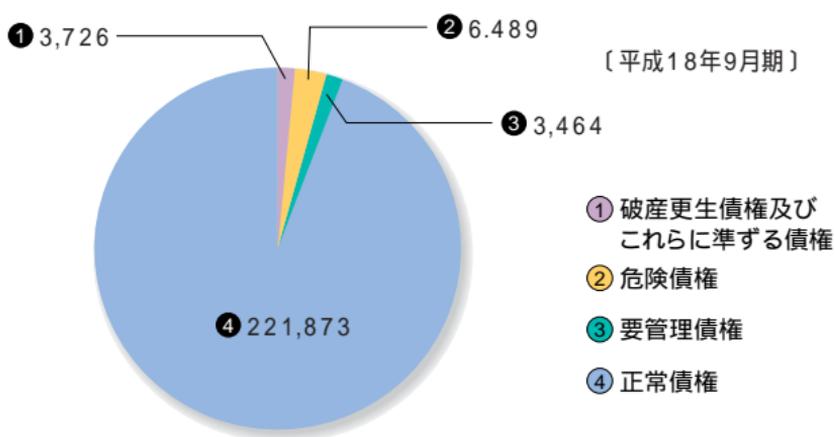
平成18年9月期は8.08%であり、この比率でみても国内基準および国際基準をクリアしています。

S 3.不良債権

金融再生法に基づく資産査定開示額(貸出金及び支払承諾等貸出金に準ずる債権を対象)は次のとおりです。

(百万円)

区 分	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,436	3,460	3,726
危険債権	5,786	5,802	6,489
要管理債権	3,468	3,919	3,464
計 ①	12,692	13,181	13,680
正常債権	214,053	207,880	221,873
合計 ②	226,746	221,062	235,553
不良債権の割合 ①/②	5.59%	5.96%	5.80%



銀行法に基づくリスク管理債権額(貸出金のみを対象)は次のとおりです。

(百万円)

区 分	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年9月期
破綻先債権	2,310	2,415	2,186
延滞債権	3,810	3,744	7,904
3ヵ月以上延滞債権	41	13	32
貸出条件緩和債権	5,917	6,372	3,432
計 ③	12,080	12,545	13,555
貸出金残高(未残) ④	221,085	215,682	230,939
不良債権の割合 ③/④	5.46%	5.81%	5.86%

S 4. 有価証券

有価証券の運用残高および評価差額等は次のとおりです。

運用残高

(億円)

区 分	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年9月期
運 用 残 高	686	766	749
内 訳			
債 券	523	496	548
株 式	24	24	31
その他	138	245	168

評価差額等

(億円)

区 分		平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年9月期
満期保有目的の債券等	差 額	3	2	4
その他有価証券	評価差額	11	4	5
内 訳				
	債 券	5	5	9
	株 式	2	0	2
	そ の 他	3	0	0

「売買目的の有価証券」はありません。

「子会社・関連会社株式」で時価のあるものはありません。

差額および評価差額は、各決算日の時価に基づき算出しております。ただし、内訳中の「株式」および「その他」に含まれる投資信託等の評価差額は、中間期末月1ヵ月の市場価格の平均時価に基づき算出しております。

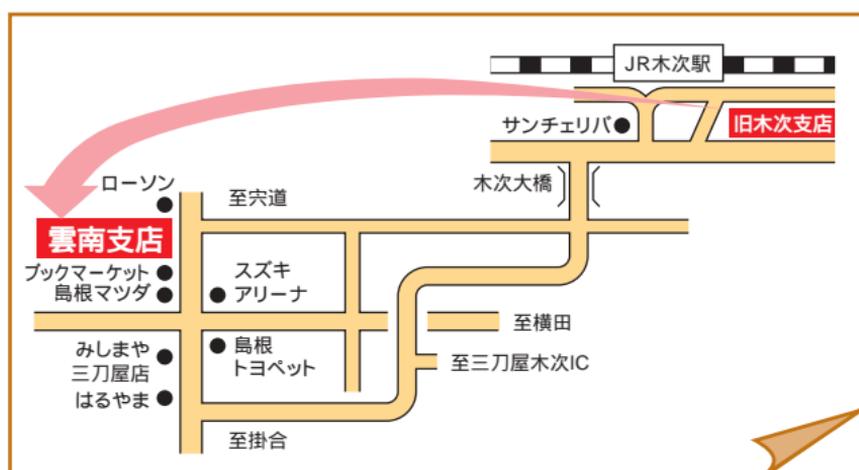


S 5.トピックス

雲南支店移転オープン

当行木次支店(木次町木次)は、平成18年10月10日(火)から「雲南支店」に名称変更し、三刀屋町下熊谷(国道54号沿い)に移転オープンいたしました。

今後とも末永くご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



オープン当日の様子



S 6. 地域貢献

「しまぎんビジネス視察ツアー」の取り組み

当行では、お取引先企業の「経営課題の解決」や「即効性のあるビジネスマッチング(販路拡大等)」を支援するため、経営者の方を参加対象とした視察旅行を実施しております。

日本最大級の商談イベントである「東京ビジネス・サミット」の視察・参加を主要目的としており、販路拡大やビジネスパートナーの発掘、異業種交流の機会を提供するものです。また、都内優良企業への見学等も実施しており、最新ビジネストレンドを体感していただける内容となっております。

当年度視察ツアーの内容〔18年11月実施予定〕

- ・「第20回 東京ビジネス・サミット2006」の視察
- ・都内金属加工メーカーの見学
- ・話題のビジネススポット訪問など

昨年度視察ツアーの様子



〔しまぎん店舗のご案内〕

島根県(25カ店)

松江市(10カ店)

本店営業部 TEL(0852)24-1234

松江駅前支店 TEL(0852)24-1351

南支店 TEL(0852)24-1251

学園通支店 TEL(0852)21-2120

北支店 TEL(0852)24-1451

津田支店 TEL(0852)24-1551

松江卸団地支店 TEL(0852)24-1651

山代支店 TEL(0852)24-1751

黒田支店 TEL(0852)23-7777

上乃木支店 TEL(0852)22-7755

隠岐郡(1カ店)

西郷支店 TEL(08512)2-1224

安来市(1カ店)

安来支店 TEL(0854)22-3535

出雲市(5カ店)

出雲支店 TEL(0853)30-6611

出雲東支店 TEL(0853)22-5260

出雲中央支店 TEL(0853)23-6262

大社支店 TEL(0853)53-2142

平田支店 TEL(0853)62-2314

雲南市(2カ店)

大東支店 TEL(0854)43-2621

雲南支店 TEL(0854)45-5557

簸川郡(1カ店)

斐川支店 TEL(0853)72-5200

大田市(1カ店)

大田支店 TEL(0854)82-0395

江津市(1カ店)

江津支店 TEL(0855)52-2626

浜田市(1カ店)

浜田支店 TEL(0855)22-0276

益田市(2カ店)

益田支店 TEL(0856)22-2222

益田北支店 TEL(0856)23-4455

鳥取県(9カ店)

米子市(4カ店)

米子支店 TEL(0859)34-3131

角盤町支店 TEL(0859)32-5121

米子駅前支店 TEL(0859)33-5221

米子東支店 TEL(0859)22-7370

境港市(1カ店)

境支店 TEL(0859)42-3761

日野郡(1カ店)

根雨支店 TEL(0859)72-0371

倉吉市(1カ店)

倉吉支店 TEL(0858)22-4158

鳥取市(2カ店)

鳥取支店 TEL(0857)22-3118

鳥取駅南支店 TEL(0857)24-8141

本ミニ・ディスクロージャー誌は、しまぎんの主要な経営情報をタイムリーに、また、分かりやすくお伝えすることを目的として作成しております。

今後も地域のみなさまに、積極的な経営内容の情報開示をおこなってまいります。

なお、本誌記載の情報は当行ホームページに掲載しております。

資料中、平成18年9月期の計数につきましては、速報ベースの数値であり、今後、監査法人による監査等を踏まえ確定することとなります。

島根銀行

(平成18年11月発行)

お問合せ先：業務企画グループ

松江市東本町2-35 〒690-0842

TEL.0852-24-1234(代表)

URL.<http://www.shimagin.co.jp>



本誌の作成にあたっては、環境にやさしい大豆インクと古紙配合率100%再生紙を使用しております。